



明けまして
おめでとうございます

松沢まちぐりセントラル所長より
新年の一言あいさつをいただきました

町会・自治会等では従来から防犯防災、サロン、

な活動を活発に展開されています。

の賑わいが戻ってきたことを実感した一年でした。数年間の空白を経ての再開には相当な労苦勞があつたのではと拝察いたします。この松ざわニユースも見事に復活を遂げ、うれしい限りです。

さて、令和六年度は、令和十三年度までの「世田谷区基本計画」初年度になります。基本計画とは、人口動態の変化や自然災害の常態化など、近年の社会状況の変化を踏まえ、これから八年間年に区が重点的に取り組む政策、施策の方向性を明らかにした区政運営の基本的な指針です。

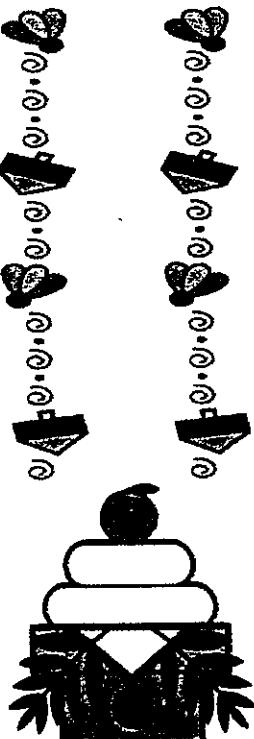
まちづくりセンターにおまかせであります。委員の皆様とともに実施する各種事業においては引き続きのサポートをさせていただき、地域の皆様に今まで以上に安心感を持ち、住み続けたいと思つていただける、共助を意識したまちづくりを田舎します。

ので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

所長 乘松 敬子

第 154 号
令和 6 年 1 月
松ざわニュース編集委員会
松沢まちづくりセンター
〒 3323-8391
赤堤 5-31-5

号月行局
番年務



今年願うこと

皆様にうかがいましナ

☆今年願う事、世界の平和です。理由は、日本で
変わらない日々の生活が、実は世界の中では特
別な事なのだと考えさせられた23年だったから。

10代男性

20代も後半なので、健康的に食事を心がけたいです。週に2～3回は必ず自炊することを目指します。

変わるため、少し
ます。現在、頑張

(20代女性)

☆昨年は戦争・紛争などが、嫌というほど伝えられました。子どもたちの笑顔を守るためにも、地求二から、争ハがなくなつてほしいです。

（60代 女性）

☆高齢者の仲間入りをし数年たちました。体力の衰えを覚えるようになりました。健康のため、毎日の散歩から頑張りたいと思います。

★70代も後半、先の希望を持つ事が難しくなってきて、生きています。でも人生100年とか、なんとか目標として丁寧に生きていきたいと思っています。

卷之三

季折々の木々や花を楽しみながら毎日五千歩程度を歩き豊かな気持ちで過ごしたいと思います。

☆平和と思っていた日本が、いつの間にかこれで

しくないと思う。
(70代 女性)

☆人生は、楽しい事だけ覚えていればいい、有名な方の言葉ですが、最高の言葉です。良い事しかない一年になりますからね。

(70代女性)

下高井戸のまちづくり

これからのまちづくり事業

下高井戸商店街では、京王線の高架化を機にまちづくりの検討を始めました。

まちづくりの基本理念・目標

まちの情緒やつながりを大切にして、暮らしやすい未来を創る

先代から、ひいては江戸の宿場町時代から続くまちの特色を失わず、これから時代に適応したまちづくりを進める

目標1

商店街のあちこちでふれあいが生まれるまち

店主の人柄があふれる多様な個店を増やす

会話や交流を促す店構えを工夫する

商店街周辺を歩行者に優しい場所にする

・家族や地域の人たちと交流できる環境を整える

・住民全体のまちづくりを進める仕組みをつくる

・防災力が高く、多彩な活動が生まれるまち

・交通結節点として利便性を高める

・駅周辺に遊べる場所や集まる場所を創る

・安全安心な基盤を整える

下高井戸商店街振興組合

事務局長 石井健夫

下高井戸商店街では、「しもたかブック」を基に、駅周辺地区の四つの街区で、再開発や共同ビルの勉強会を行っています。皆様も、ご承知の通り商店街の核とも言える下高井戸駅前市場も来年の三月には閉場し、将来、駅前広場に生まれ変わります。商店街は、食の豊かな街です。安心で安全にお買物ができるよう、「地域に愛される」商店街を目指しています。



昭和57年に刊行された「松ざわニュース」も、地域の皆さんに御愛読して頂き、今年で42年目を迎えます。その間コロナ禍での休刊もありました。が、が難しくなり、話し合いの結果、年2回（1月、7月）とさせて頂きます。

さて、年号についてのお話です。年号には、和暦と西暦が有ります。私は昭和生れです。生年月日は和暦で覚えていましたが、孫の誕生以降はいつの間にか西暦で答えていました。

皆さまのイメージはどちらでしょうか。

さて、年号についてのお話です。

詳しく述べて頂きます。

「この数年委員の人数も減り、年4回の発行が難しくなり、話し合いの結果、年2回（1月、7月）とさせて頂きます。

さて、年号についてのお話です。

詳しく述べて頂きます。

年号には、和暦と西暦が有ります。私は昭和生れです。生年月日は和暦で覚えていましたが、孫の誕生以降はいつの間にか西暦で答えていました。

皆さまのイメージはどちらでしょうか。

さて、年号についてのお話です。

詳しく述べて頂きます。

年号には、和暦と西暦が有ります。私は昭和生れです。生年月日は和暦で覚えていましたが、孫の誕生以降はいつの間にか西暦で答えていました。